

公開実用平成 3-109501

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-109501

⑮ Int. Cl.⁹

A 43 B 3/10

識別記号

F

庁内整理番号

8115-4F

⑭ 公開 平成3年(1991)11月11日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑬ 考案の名称 スリッパ

⑯ 実 願 平2-17966

⑰ 出 願 平2(1990)2月23日

⑱ 考 案 者	後 藤	邦 彦	愛知県岩倉市宮前町3-27-1
⑲ 考 案 者	石 井	武 雄	埼玉県熊谷市大字今井1401
⑳ 出 願 人	後 藤	邦 彦	愛知県岩倉市宮前町3-27-1
㉑ 出 願 人	石 井	武 雄	埼玉県熊谷市大字今井1401
㉒ 代 理 人	弁理士 石 井	紀 男	

明 細 書

1. 考案の名称

ス リ ッ パ

2. 実用新案登録請求の範囲

爪先を挿入するための甲と、テックス及び底板とからなる底部と、底部の上面を覆う表皮とからなるスリッパにおいて、足の指のつけ根部分に対応して第1の凸部を設けると共に、土踏まず部分に対応して第2の凸部を設け、その上面を軟質材と表皮にて覆ったことを特徴とするスリッパ。

3. 考案の詳細な説明

〔考案の目的〕

（産業上の利用分野）

本考案は健康を考慮したスリッパに関する。

（従来 of 技術）

足の裏側を刺激することが、健康上良いことはよく知られており、そのためにスリッパの足の裏の当たる面に凹凸を設けることは普通に行なわれている。この場合の凹凸の位置は全面であったり、特定した一部分であったりする。

(考案が解決しようとする課題)

上記した従来のスリッパは、その凹凸部分が剥き出しであるため、長時間にわたってスリッパを履くと刺激が強すぎる欠点がある。

本考案は上記欠点を解決するためになされたものであり、直接的な刺激を避けると同時に肌触りがよく、かつ健康にも良好なスリッパを提供することを目的としている。

[考案の構成]

(課題を解決するための手段と作用)

上記目的を達成するため、本考案は爪先を挿入するための甲と、テックス及び底板とからなる底部と、底部の上面を覆う表皮とからなるスリッパにおいて、足の指のつけ根部分に対応して第1の凸部を設けると共に、土踏まず部分に対応して第2の凸部を設け、その上面を軟質材と表皮にて覆って構成した。したがって肌触りが良く、かつ健康に良いスリッパとなる。

(実施例)

以下図面を参照して実施例を説明する。

第1図は本考案によるスリッパの一実施例の平面図、第3図は第1図のX-X'線からみた断面図である。第1図、第3図をもとに説明すると、図において、1はスリッパ本体であり底板2の上部にあるテックス3に甲4を固定してある。5、6は凸部であって硬質スポンジ等にて形成し、その断面は第2図(a)、(b)のようになっている。

第2図(a)は凸部5（以後第1の凸部を称す）の断面図であり、第2図(b)は凸部6（以後第2の凸部と称す）の断面図である。なお、取付位置としては第1の凸部5は指のつけ根部とし、第2の凸部6は土踏まず部分とする。そして第1の凸部5は全体としてなだらかな形状であるが、第2の凸部は頂部（踵側方向の）に平面部7を設けて、足ざわりを良くしている。7はウレタン等からなる軟質部であり、これによって各凸部を含めた全面を覆い、その上面に表皮8を設けた構成を有する。

上記構成から明らかなように、凸部を2分割して指のつけ根部分と土踏まず部分に分割すると共

に、その上面をやわらかな材質で覆っているため、適度の刺激があるばかりか、肌触りも良く、長時間の使用にも耐え、かつ健康的である。

〔考案の効果〕

以上説明したように、本考案によれば肌触りが良く、かつ健康にも良いスリッパを提供できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案によるスリッパの一実施例の平面図、第2図は凸部Y-Y'線及びZ-Z'線の断面図、第3図はX-X'線の断面図である。

- | | |
|----------|---------|
| 1…スリッパ本体 | 2…底板 |
| 3…テックス | 4…甲 |
| 5…第1の凸部 | 6…第2の凸部 |
| 7…軟質部 | 8…表皮 |

実用新案登録
出願人

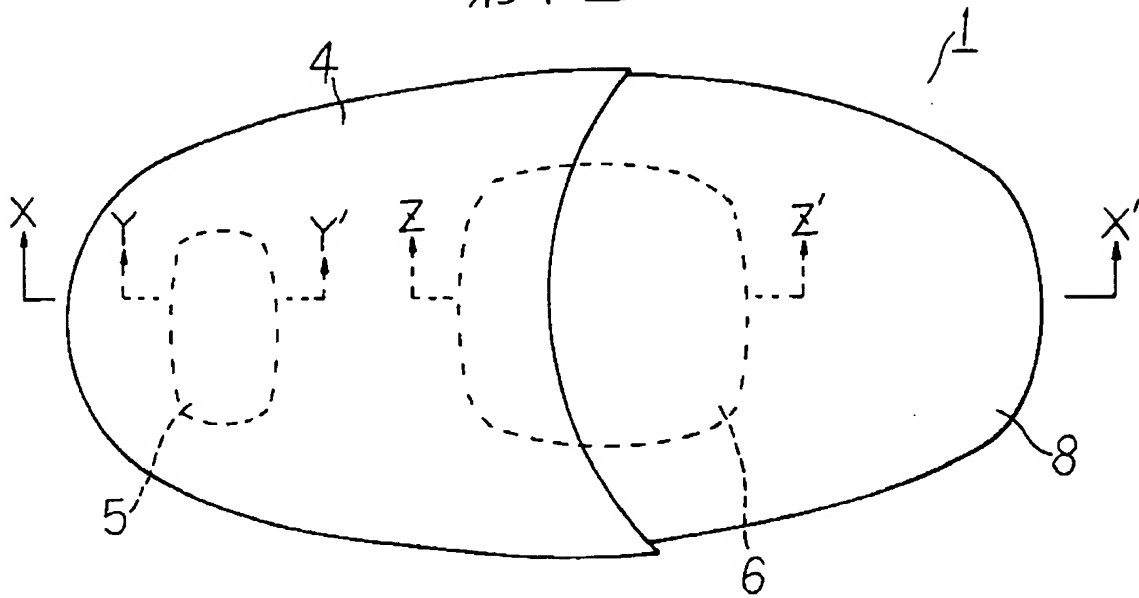
後藤 邦彦

(ほか1名)

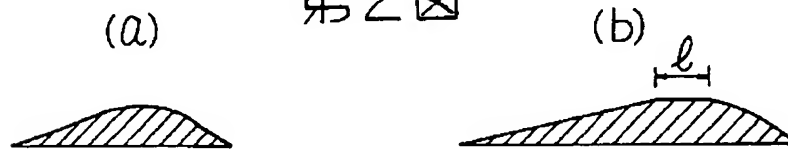
代理人弁理士

石井 紀男

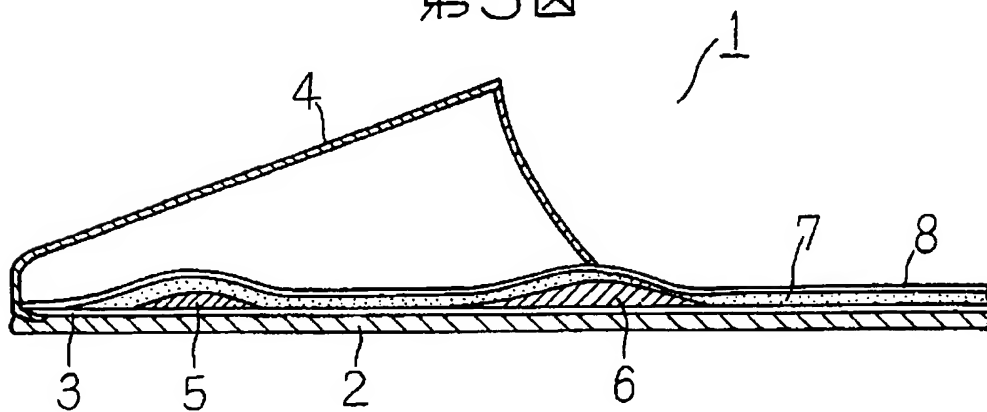
第1図



第2図



第3図



實用新案登録出願人 後 藤 邦 彦 (ほか名)
代理人 井 理 士 石 井 紀 男